

平成27年10月15日  
於  
府中市立教育センター

平成27年第10回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

平成27年第10回府中市教育委員会定例会議事録

- 1 開 会 平成27年10月15日(木)  
午後1時00分  
閉 会 平成27年10月15日(木)  
午後1時25分
- 2 議事録署名員  
教育長 浅 沼 昭 夫  
委 員 村 越 ひろみ
- 3 出席者  
教育長 浅 沼 昭 夫 委 員 崎 山 弘  
委 員 齋 藤 裕 吉 委 員 村 越 ひろみ  
委 員 松 本 良 幸
- 4 欠席者  
な し
- 5 出席説明員  
教育部長 今 永 昇 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史  
教育部副参事兼指導室長 文化振興課長 山 本 忠  
三田村 裕 ふるさと文化財課長 江 口 桂  
総務課長 志 摩 雄 作 ふるさと文化財課長補佐 黒 澤 明 美  
学校施設担当主幹 山 田 英 紀 美術館副館長 須 恵 正 之  
総務課長補佐 北 村 均  
学務保健課長 酒 井 利 彦  
給食担当主幹 鈴 木 哲 夫  
学務保健課長補佐 山 田 晶 子  
給食センター整備担当副主幹  
大 井 孝 夫  
指導室長補佐 古 塩 智 之  
統括指導主事 日 野 正 宏  
統括指導主事 国 富 尊  
指導主事 山 本 勝 敏  
指導主事 林 田 孝 子  
指導主事 駒 澤 文 泰
- 6 教育委員会事務局出席者  
総務課係長 遠 藤 公巳明  
総務課主任 鈴 木 紘 美

## 議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第4 報告・連絡

- (1) 特別展「府中の発掘お宝展2015 ～府中市発掘40年お宝40選～」について
- (2) 「市史跡 旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別公開」について
- (3) 寄附の採納及び感謝状の贈呈について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後1時00分開会

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまより、平成27年第10回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の議事録署名員は、私のほか村越委員にお願いいたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期の決定でございますけれども、会期は本日1日といたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第3、議案ですが、本日は議案の審議はございません。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎特別展「府中の発掘お宝展2015 ～府中市発掘40年お宝40選～」について

◎「市史跡 旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別公開」について

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第4、報告・連絡に移ります。

報告・連絡（1）及び（2）を一括して、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（黒澤明美君） それでは、ふるさと文化財課から2件まとめてご報告いたします。

まず、特別展「府中の発掘お宝展2015 ～府中市発掘40年お宝40選～」について、資料1に基づきご報告いたします。

府中市では、昭和50年に府中遺跡調査会が発足して、今年で40周年を迎えました。この40年間に市内での発掘調査は1,700件を超え、府中のまちのルーツである古代武蔵国府の具体的な容貌が解明されつつあるとともに、旧石器時代から近代にかけての人々が府中に残した足跡が明らかになっています。この展示会では、旧石器時代から近代までの遺跡から発見された貴重な文化財の中から選りすぐりの40品目を展示し、あわせて府中市遺跡発掘の歩みをパネルの解説でご紹介いたします。

今回は、昨年同様に、前期、後期の2回に分けて展示会を行い、展示内容を一部変えて展示いたします。

前期展は、11月2日月曜日から8日日曜日まで、フォーリス1階「光と風の広場」にて開催いたします。開館時間は午前10時から午後8時まで。最終日の8日は午後5時までとなります。なお、8日の午後2時からギャラリートークを行います。

後期展は、ふるさと府中歴史館1階、国府資料展示室特別展コーナーにおいて、11月17日火曜日から来年の2月28日日曜日まで開催し、観覧は午前9時から午後5時までとなります。これを機会に、ぜひ、お宝展にお越しくください。

次に、「市史跡 旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕 特別公開」につきまして、資料2に基づ

きご報告いたします。

旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕は、今から約70年前、太平洋戦争の末期につくられた「戦闘機用の防空壕」です。現在では、都内に4基しか残っていない掩体壕は、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へと語り継いでいくための貴重な文化財です。開催は11月3日の祝日、午前10時から午後4時までです。東京文化財ウィーク2015の開催に伴い、通常時は公開していない壕の内部を特別に公開いたします。

なお、開催時間内に適宜解説も行いますので、どうぞお越しいただきたいと存じます。

報告は以上となります。

○教育長（浅沼昭夫君） この点につきまして、何かあったらご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（1）及び（2）について了承いたします。



◎寄附の採納及び感謝状の贈呈について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（3）を総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐（北村 均君） それでは、資料3の「寄附の採納及び感謝状の贈呈について」、ご報告いたします。

今回は1点でございます。こちらは、学校教育活動の一層の充実・発展を図るために寄附されたものでございます。寄附の採納先は、府中市立南町小学校。寄附品は、ミシン4台、21万6,000円。デジタル教科書4式、23万7,600円。タイヤ遊具1式、9万5,000円でございます。寄附者は、府中市立南町小学校創立40周年実行委員会で、受領日は、平成27年10月14日でございます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かご質問、ご意見ございますか。

○委員（松本良幸君） この寄附品名の中の「デジタル教科書」ですけれども、これはどういったものになるのでしょうか。

○総務課長補佐（北村 均君） こちらは、算数の教科書のデジタル版という形と伺っております。4式となっていて、3、4、5、6年ということでの寄附と学校から伺っております。

以上でございます。

○委員（松本良幸君） ありがとうございます。多分、具体的なところは見てみないと分からないかもしれませんが、教科書とうたっているもので、要は教育委員会で認定した教科書なのか、それともそれを映す装置という、プロジェクターのようなものをいただいたのでしょうか。4式ということで、皆が使うものではないのかなと思いますが、今後、そういうものを活用するような時代になっていくのではないかと思いますし、せっかくいただいたものですから、ぜひ、活用していただければと思います。もったいないので、ただもらいましたと言ってしまっておくのではなくて、ぜひ積極的な活用等をまた先生方にもお願いをして、また、その評価等をご報告いただけたらうれしいなと思います。

どうもありがとうございました

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。

よろしいですか。

それでは、報告・連絡（3）について了承をいたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他ですが、何かございますか。

○学務保健課長補佐（山田晶子君） それでは、学務保健課から1件ご報告いたします。  
資料はございません。

このたび、市立小柳幼稚園が第54回全日本学校歯科保健優良校表彰の優秀賞に選ばれ、文部科学大臣賞を受賞することが決定されました。

この賞の幼稚園の部では、全国で1園のみで、小柳幼稚園における親子歯科指導や、「カミカミおかずデー」などの取組が評価され、受賞となりました。

なお、表彰式は10月29日木曜日に長野県で行われる全国学校歯科保健研究大会の中で表彰が行われる予定でございます。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） この件については、何かご質問等ございますか。

よろしいですか。幼稚園の取組が認められたということで大変嬉しく思っております。



◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第6、教育長報告に移ります。

活動状況につきましては、別紙の「平成27年第10回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」のとおりでございました。なお、この報告書は、平成27年9月5日から10月9日までの活動内容となっております。私からは特段ございません。

以上です。



◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況につきましては、別紙のとおりでございます。最初に、崎山委員、お願いいたします。

○委員（崎山 弘君） では、崎山より報告いたします。

まず、活動内容にも書かれていますが、10月8日の教育委員会訪問を五小、四谷小、八中へ行ったわけですが、やはりそこで子どもたちが勉強しているところを見ると、我々が選んだ教科書を使っているのだなということで、選んだ教科書についての責任を痛感したところでございます。

その他、別にこれは報告ではないのですが、9月21日から23日まで、私と松本委員とで府中第七小学校のセカンドスクールに行きまわりました。朝、朝礼をして、バスに乗っていくところからスタートしたわけですが、普通、教育委員会の視察で行くよりも、子どもに密着した形だったので、かなり子どもたちの様子をよく見ることができて楽しい思いをさせてもらいました。

私、一応、小児科医として聴診器などを持っていったのですが、今回に関してはあまり活躍することは幸いなかったのがよかったです。

また、今回、一緒にプロジェクトアドベンチャーという国際自然大学校日野春校というところで子どもたちと一緒に参加してまいりました。構成的グループエンカウンターにかなり似ているなどという感じはしましたが、子どもたちの教育に関して、イベントとして非常におもしろい試みだったと思うので、今後、これが参加される学校が増えてくるような印象がありますけれども、かなり有意義なプロジェクトアドベンチャーだと感じました。

もう1点、本日、午前中、国立感染症研究所で、感染症危機管理研修会というものが行われました。全国の保健所あるいは検疫所などから専門の方が集まる会議ですけれども、そこで、昨年、府中市のセカンドスクールで発生したクリプトスポリジウムの集団発生事例について報告してきました。

これ自体は、国立感染症研究所のほうから、私に講演の依頼があったわけですが、全国的にも非常にまれな感染症であるため、かつ我々の対応がよかったということで、それを全国の人たちに報告してほしいというような意味合いで依頼があり報告をしてまいりました。これも教育委員会がしっかり対応してきたおかげだなというふうに考えております。

私からの報告は以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

齋藤委員、お願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） この間の教育委員としての活動の中で、みどり幼稚園の運動会を視察しましたことに関して、感想を少し述べてみたいと思います。

幼稚園、非常に保護者の協力、どこでもたくさん力をいただいて、注がれていると思うのですけれども、その姿がよく見られました。また、第二小学校の6年生や先生も応援に来ていて、非常にその活動ぶりがすばらしいなと思いました。

園児たちは本当にいろいろなことができるなということを改めて思った次第です。走ったり、ダンスをしたり、きちんと整列をしたりということですね。小1プロブレムということが言われるわけですけれども、小学校の先生たちは、小学校に入学してくる子どもたちが、幼稚園や保育園でどこまで育っていくのか、何ができるようになっていくのかというようなことをよく見て、小学校での指導のあり方を考えるべきではないだろうかと参加をしながら思いました。

園長先生も言うておられましたけれども、小学校では、入学してきた子どもたちをどうも少しばかり幼児扱いし過ぎているのではないかと思われる面があるということですね。

小学校に入学してきた子どもたちの既にできること、これを大いに評価をして、そこから子どもたちの力を伸ばしていけるような、そのような教育計画と指導が必要であろうと思います。

小中連携につきましては、一定程度進みつつあるものと思われまますけれども、保幼と小の連携につきましても、先生方の仕事全体のバランスというものを考えながら、情報交換とか、特に小学校の先生方が保育園や幼稚園の活動を見学するというような機会があったほうがよいのではないかと思います。園の数が多ければ手分けをすればよいということになるわけですね。

小学校の新1年生については、どのような子どもたちによる学級編制になるのか、名簿情報がなければ、子どもたちに関する情報が少ないといつも思っておりました。そして実際に

ふたをあけてみないと、どういう子どもたちの実態なのか分かりにくいということもしばしばあったと思います。

保育園、幼稚園と小学校とのより円滑な接続ができるような、そのような取組も必要であると、今回、みどり幼稚園の運動会を視察して、そのような感想を持ちました。

私からは以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは、村越委員、お願いいたします。

○委員（村越ひろみ君） 今の齋藤委員の幼稚園、保育園と小学校の連携は私も大事だなと思うので、市立の幼稚園はなくなっていくますけれども、保育園とか、私立の幼稚園との連携もかかわっていったほうがいいのかと思います。

では、報告をさせていただきます。

9月の終わりから10月の初めの2週間にわたって、秋の運動会が秋晴れのもと、小学校11校で行われました。私は活動報告に記載の学校に伺いました。

毎年、運動会の参加は楽しみにしています。その理由の1つは、子どもたちが何より一生懸命取り組む姿を見られること、もう1つは校長先生や地域の方とお話ができ、生の声を聞くことができることです。今年もいろいろお話しをしていたのですが、芝生のことが挙がりました。よい点としては、裸足で競技ができて、けがをしたとしても、大きなけがにはならない。何より見ていて、芝生にいる子どもたちは、とてもはえてすごく美しく見えますよね。また、逆に芝生化になって、その養生の大変さとか、子どもたちが校庭を使えない時期があると、運動できなくなるのはいかがなものかという声も聞きました。

芝生化は、今は学校によって様々な状況になっていますが、校庭全面芝生化にしている学校は、これまで年月を経てきたことで、使い方や管理の仕方を地域の方やPTAの方の知恵や工夫、学校との連携をもとに、良い方向に向いてきているというお話を聞くことができました。

何か新しい取組や、少し難儀な問題や課題になると、その解決に向けていろいろな人がかわり、コミュニケーションがとれ、結果として子どもたちのために良い方向性が見出せるのだと思いました。

また、小中連携においても、話を聞くことができました。

以前にも、小中連携が進んできていると感じていることをお話しさせていただいたのですが、今回は、また一歩踏み込んだ連携に取り組む様子が聞けました。6年生が中学校に行って、中学校の先生に授業を受けるという授業体験の場を設けたという学校があったり、これからそれをやりますよという学校のお話、また、中学校の先生が小学校へ出前授業に行くなど、先生方の話し合いだけの交流だけではなくて、子どもたちが参加しての連携交流が行われているとのことでした。

小中連携が始まったころは、お互いの状況も察しながら試行錯誤し、少しずつ歩み寄っていったと思いますが、今は、小中の先生方が連携することの必要性や大切さを実感し、様々な取組をしていこうとしておられるのだと思います。今後、ますます連携を深めて、子どもたちのためによい方向性を見出していただけたらと思います。

もう1つお話ししたいことは、日本全国が興奮に沸き立ったラグビー日本代表の活躍です。

代表選手の中には、サントリーサンゴリアスや東芝ブレイブルーパスの多くの選手が活躍していたことが誇りに思えます。ルールはよく分からなくとも、見ていて本当に命がけで走って、相手にタックルしてトライする瞬間を見ていると感動しました。

府中では、ラグビーに夢中になる子どもたちがたくさんいます。将来、本物のラグビーの魅力にとりつかれて、選手になる者があられるのではないかなとちょっと期待したりしています。

市長もラグビー愛好家ですし、先日、お話を伺ったときも、2019年のワールドカップは、開幕戦は味スタで行われるということも聞きました。4年後の開催も、きっと大盛り上がりになることは間違いないと思います。これからもたくさんのスポーツに触れることができる府中の姿勢を大切にして、スポーツタウン府中として子どもたちに夢を与えられたらいいなと思いました。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは、松本委員、お願いします。

○委員（松本良幸君） それでは、松本よりご報告させていただきます。

今回は10月10日、11日に開催された第6回武蔵府中熊野神社古墳まつりを参観して感じたことをお話しさせていただきます。

この古墳まつりは、地域の方々が中心となって活動されている武蔵府中熊野神社古墳保存会の皆さんと、府中市が主催するものです。その内容は盛りだくさんなもので、古代衣装をまとって練り歩く古墳パレードに始まり、前夜祭では、ライトアップされた古墳をバックに雅楽や和太鼓、ジャズバンドの演奏があり、本祭では、第五小学校、本宿小学校の合唱、器楽演奏がお披露目されました。

また、隣接する熊野神社境内では、地域自治会の方々による模擬店が出店され、小さいお子さんから年配の方々までとても多くの市民が来場し、それぞれの古墳まつりを楽しんでおられました。

私は、委員としてまつりを楽しませていただく立場でしたが、この古墳まつりを開催するまでには、古墳保存会の方々を中心に、大きなご苦労があったことと思います。また、会場外でも駐輪場のご案内など、多くの市民にご協力いただいていることも感じました。これはまさに市民協働による地域活性化の好例ではないでしょうか。

1,300年を超える古墳の歴史から見ると始まったばかりの活動ではありますが、文化財保護の面だけではなく、地域の絆づくりという意味での府中市のご支援をこれからもぜひお願いしたいと思います。

以上で私からの報告を終わります。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは、これで平成27年第10回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。

◇  
午後1時25分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証  
するため、ここに署名する。

平成27年12月17日

府中市教育委員会教育長

浅沼 昭夫

府中市教育委員会委員

村越 ひろみ